

科目名	計量経済学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修 ■ 選択	
			学科	□ 必修 □ 選択	
英文表記	Econometrics	開講年次	□ 1 年 ■ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	たむら ひであき	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	田村 英朗	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	経済データの分析手法について理解し、その分析結果について正しく解釈できる力を身につける。				
到達目標	経済データの分析手法とその背景にある考え方が理解できるようになる。 推定結果の見方の基本事項を理解し、自分で結果の解釈ができるようになる。				
授業概要	計量経済学の有用性と分析の流れを理解し、分析および解釈の前提となる統計学の考え方および実際の分析手法となる単回帰分析、重回帰分析とその回帰モデルの検定方法について学びます。そして、実証分析の事例に基づき推計結果を解釈する能力を養います。				
授業計画					
第 1 回	計量経済学の有用性と分析の流れ				
第 2 回	理論と実証、データの種類、推定結果を理解するための用語や概念				
第 3 回	標本の特性を図るものさし(1) 中心を測るものさし、ばらつきを測るものさし				
第 4 回	標本の特性を図るものさし(2) 2 変数の関係を測るものさし				
第 5 回	計算演習(1) 和記号・分散、相関係数				
第 6 回	正規分布と正規分布表				
第 7 回	標本分布(1) 無作為抽出、標本平均の分布、中心極限定理				
第 8 回	標本分布(2) 正規母集団からの標本分布、さまざまな分布 (t 分布など)				
第 9 回	仮説検定				
第 10 回	回帰分析(1) 回帰関係の意味、回帰モデルの諸仮定、最小二乗法				
第 11 回	回帰分析(2) 単回帰分析と決定係数、重回帰分析と自由度修正済み決定係数、				
第 12 回	回帰分析(3) 簡単な非線形モデルの扱い、ダミー変数の活用、関数形と弾力性				
第 13 回	エクセルによる回帰分析の実施方法と推定結果の見方				
第 14 回	計算演習(2) 単回帰分析、重回帰分析、推定結果の評価				
第 15 回	復習				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業で配るプリントや課題に十分に取り組んでください。(1 時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通すようにしてください。(0.5 時間程度)				
履修条件 受講のルール	経済学入門を履修していることを前提として講義を進めます。 令和4年度以前開講(1 年時配当)の『経済データ解析論』とはほぼ同内容となりますので、すでに同科目を受講済の方は留意して下さい。				
テキスト	『実証分析のための計量経済学―正しい手法と結果の読み方』山本勲 中央経済社 (2015) テキストおよび適宜資料を使用します。なお、事前に連絡が無く欠席した学生には資料を原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。 第 13 回・第 14 回の授業では PC を使用します。各自ポータルサイトより課題データを入手の上、ノート PC を持参して参加して下さい (詳細は後日連絡します)。				
参考文献・資料	白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学(第 2 版)』日本評論社、2007 年。 豊田利久, 小川 一夫, 長谷川 光, 谷崎 久志『基本統計学(第 3 版)』東洋経済新報社、2010 年。				

成績評価の方法	小テスト・レポート 40%、定期試験 60%をおよその目安として、総合的に評価します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板（ポータルサイト含む）で指示します。
オフィスアワー	火曜日～木曜日の第 4 時限の時間帯 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀 (100～90 点)、優 (89～80 点)、良 (79～70 点)、可 (69～60 点)、不可 (59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	最近統計ソフトの開発・普及が進み、難解な数学理論の知識がなくても高度な実証分析ができるようになりました。その恩恵を十分に享受して今後の実社会の活動に役立てるため、推計結果を正しく解釈する能力を頑張って身に付けていきましょう。